

潜水艦救難艦『ちはや』艦艇広報

～2日間で約5,000名が来艦～



みなさん、来てくれてありがとうございます!!
タイッチはうれしい～っ♪



海上自衛隊 タイッチ

平成30年6月8日(金)から10日(日)の間、松山外港に入港した海上自衛隊潜水艦救難艦「ちはや」の艦艇広報を支援しました。「ちはや」は、2001年に生じた愛媛県立宇和島水産高校の練習船「えひめ丸」事故において、県の要請を受けてハワイ沖に派遣され、行方不明者の捜索等に従事しました。

8日の入港時には、日頃より自衛隊に対してご支援をいただいている関係協力団体の主催による入港歓迎行事が執り行われ、「えひめ丸」事故当時の県知事であった加戸守行氏をはじめ、県議会防衛議員連盟所属議員等、多数の方々、「ちはや」の入港を歓迎されました。また、一般公開に先立ち報道関係者に公開され、8日夕方のニュースで艦艇広報の案内が放送されたほか、9日の朝刊に記事が掲載され、艦艇広報期間中約5,000名を超える市民が来艦されました。

9日は一般公開終了後、「ちはや」の協力を得て、各種自衛隊採用試験の受験を考えている募集対象者の体験宿泊を実施しました。参加者からは、「実際に艦で生活することにより、海上自衛隊をより身近に感じ、受験意欲を高める良い機会となりました。」とのコメントも頂き、海上自衛隊に対する理解と興味を深めてもらうことができました。

見学者は、乗員から艦内に搭載されている深海救難艇などの装備品に関する説明を受けたほか、艦長席での記念撮影を楽しんでいました。

多くの方に見学していただき、海上自衛隊を理解してもらえ大変意義深い広報となりました。自衛隊愛媛地方協力本部は、今後とも広報活動を通じて自衛隊の魅力を伝えていく所存です。

(広報室 曾我部)



掃海艇「なおしま」「つのしま」の艦艇広報

平成30年4月25日(水)、26日(木)に四国中央市三島川之江港で行われた掃海艇「なおしま」「つのしま」の艦艇広報を支援しました。

一般公開では艇内見学の他、EOD器材(ダイバースーツ他)等の展示、無電池電話の体験コーナーを設置し、幼稚園児約140名の見学を受け入れた他、特別公開においては、高校生14名に対し展示説明、海自隊員との夕食会及び高校生からの質問会が行われ、防衛大学校受験希望者や海上自衛隊志願希望者から熱心な質問が数多くありました。

また、来場者から「今度は是非休日に来港してほしい。」との声が多く聞かれ、平日の艦艇広報でありましたが、一般公開、特別公開併せて約850名の来艇者があり、多くの方々に海上自衛隊に対する理解の向上及び親近感の醸成を得ることが出来ました。

愛媛県には海上自衛隊の基地がなく、艦艇や海上自衛官と触れ合う機会が少なかったため、あらゆる機会を活用し、海上自衛隊を身近に感じてもらう



艇内見学

(新居浜出張所 窪田)

ぎゅぎゅつと愛南!夏の陣に参加

自衛隊愛媛地方協力本部 宇和島地域事務所は5月27日(日)愛南町で開催された「ぎゅぎゅつと愛南!夏の陣」において広報活動を実施しました。

このイベントは、愛南町の豊かな水産資源及び農産物等を県内外に広くPRし、来場者に「食材の宝庫 愛南町」を知ってもらうとともに、地域の活性化を図るため毎年開催されている。当日は天候にも恵まれ約2万6千人の来場者で大盛況でした。

宇和島地域事務所は、ミニ制服の試着・写真撮影、災害派遣活動及び各種募集種目のパネル展示、広報ビデオの放映及び1/2tトラックの展示説明等を実施し、地域における自衛隊に対する理解と親近感の醸成を図りました。

特に、近傍に自衛隊の駐屯地や基地がないため、普段は目にする事の少ない1/2tトラックに興味津々のちびっ子達が大量訪れるとともに、自衛官と直接話すことにより「自衛隊の活動についてよくわかりました。あこがれます。頑張ってください!」等の声



1/2tトラックの前で記念撮影

を掛けてもらうことができました。また、イベントに参加していた地元高校生及び大学生にもブースを訪れてもらい、自衛隊をより身近に感じてもらう良い機会になったものと思います。

(宇和島地域事務所 高橋)

「ふれあい健康祭」を支援

自衛隊愛媛地方協力本部 宇和島地域事務所は5月13日(日)宇和島徳洲会病院で開催された、看護の日イベント「ふれあい健康祭」を支援しました。

このイベントは、5月12日の「看護の日」に合わせ、地域との交流を目的に宇和島徳洲会病院を挙げて毎年開催しているもので、約700人の来場者で賑わいました。

当日は、あいにくの雨天でしたが、様々な看護体験、ステージでの音楽演奏、幼稚園生から高校生による演技(歌・ダンス・武道演武等)発表会及び宇和島名物の「牛鬼」や神輿の練り等盛りだくさんな催しがあり会場を賑わしました。

宇和島地域事務所は、ミニ制服の試着・写真撮影、自衛隊広報ビデオの放映・お仕事紹介及びジープの展示・説明等を実施し、地域における自衛隊に対する理解及び親近感の醸成を図りました。

特に、近傍に自衛隊の駐屯地や基地がないため、普段は目にする事のないジープに直接触れたり、迷彩服を着た自衛官と直に話すことにより、「自衛隊の仕事についてよくわかりました。今後頑張ってください。」「ぼくも大きくなったら自衛隊員になりたい。」等の声を聞くことができ、自衛隊をより身近に感じてもらう良い機会になったものと思います。



ミニ制服を試着して記念撮影

ポーズがかっこよきまっとなるね。かっこいい!!



